

BRM603西東京600km諏訪湖（逆回り） 試走レポート

試走スタッフ 山口

試走日：2023年5月20日

諏訪湖600km（逆回り）は、中～終盤に標高1,000m超が固まる旧来の諏訪湖600kmの攻略の難しさを、脚に余裕のある序～中盤に寄せたコースプロファイルです。ざっくりとは。実際に、先日開催の富士大回り400kmに参加していれば序盤の道志みちも感覚を掴みやすく、新鮮味に欠けるものの、手堅い計画が見込めます。

ただ旧来の諏訪湖600km(つまり順回り)とは諏訪湖地点で40kmの距離差があり、当然ながら各々の脚に応じて時間差も生じます。このため順回りでは距離時間ともに仮眠に最適な諏訪IC周辺が、必ずしも逆回りの最適解とはなりません。諏訪IC周辺の先、R20から七里岩ラインを降りていく区間に仮眠ポイントを求める可能性があります。

また忘れてならないのは、終盤の真鶴町から町田市への市街地を抜ける区間を、逆回りでは昼から宵の口のあいだにかけて通過していくことです。慢性的な渋滞による進行遅延は勿論、最後の最後まで、忍耐を試されることとなります。

試走当日は、スタートから山伏峠(道志みち)までを弱い雨に降られた以外は晴れ時々曇り、気温は昼25℃/夜17℃と昼夜寒暖差の小さい日でした。

仮眠について、スタートから各区間の見込みを積んでいき、普段の就寝に近いタイミングで走行するPC3～通過チェックD間にある以下3箇所を候補としました。自分の実績ベースでは、順回り/逆回りの距離差40kmは、時間差に直すと2.0Hになります。

- 1) 道の駅信州葛木宿 320km地点(22:00着見込み)
- 2) 諏訪IC周辺 300km地点(21:00着見込み)
- 3) JR韮崎駅周辺 345km地点(23:30着見込み)

なお、いずれの仮眠ポイントでも、睡眠を含めた滞在時間は2.0Hの想定です。ただし当日の天候や疲労を見ない計画値のため、あまり真面目には管理しません(チェックインから2.0H後をアラームに設定するくらいの緩さです)。

下表は、試走の実績です。試走は35.5Hで終わっています。

表：全PC・通過チェック、ポイントの到着および通過タイム

PC,ポイント	距離	到着日時
スタート 根岸からさわ公園	0.0 km	5/20 05:00
山伏峠(道志みち)	58.3 km	5/20 08:30
通過チェックA ローソン山中湖石割店	61.6 km	5/20 08:40
通過チェックB 大石公園	85.9 km	5/20 09:57
通過チェックC 富士川橋	148.4 km	5/20 12:11

PC1	セブンイレブン富士川松野店	154.2 km	5/20 12:32
PC2	セブンイレブン葦崎旭町店	223.1 km	5/20 16:00
	富士見峠	259.9 km	5/20 18:07
PC3	セブンイレブン下諏訪湖岸通り店	289.0 km	5/20 19:27
	チェックイン(諏訪IC周辺ビジネスホテル)	296.5 km	5/20 20:00
	チェックアウト	-	5/20 23:20
通過チェックD	ファミリーマート甲斐双葉塩崎店	351.3 km	5/21 01:53
PC5	ファミリーマート富士宮芝川店	420.6 km	5/21 06:08
PC6	ローソン中伊豆八幡店	479.5 km	5/21 09:19
通過チェックE	根府川駅	533.3 km	5/21 12:33
通過チェックF	ファミリーマート辻堂神台店	570.0 km	5/21 14:34
ゴール	セブンイレブン相模原淵野辺本町2丁目店	601.0 km	5/21 16:35

計画と実績の差に関する所感です。

スタートから山伏峠までの雨でジャージが浸水し、生乾きの不衛生から股擦れが懸念されたため、道の駅信州蔦木宿を仮眠ポイントとする選択肢は早々に消えました。PC3でぼんやりと眠気が出ていたためにJR葦崎駅周辺まで進むことを諦め、諏訪IC周辺に宿を取りました。ただコインランドリーの混雑から宿の滞在時間は3.0Hに延びています(通過チェックA～Bで稼いだ1.0Hの貯金を充てた格好です)。

通過チェックC～富士見峠のあたりまでは、追い風により好進行でした。富士川を風が遡上していくイメージです。一方で夜間は逆に吹くのかと、PC5へは夜明けに到着するよう走ってみたのですが、昼間と同様の風向で、あまり嬉しくない結果になりました。

PC6以降では断続的な渋滞にハマり、余裕を持って引いた計画値ギリギリの進行でした。昼から夕方にかけての通過のため帰路や生活による渋滞の影響は小さいと踏んでいたのですが、目論見の外れた印象です。夕方から宵の口にかけて、渋滞は伸びていくと考えられます。詰めを見誤って認定を逃さないよう、計画ください。

予実以外の細かな所感です。

- 1) K510では、相模原ICへの分岐・合流地点を通過します。圏央道へ出入りしたい車両の進行ルートを塞がないよう、必ず、バラけて進んでください。自転車が3台並べば中型トラックと同等の長さになります。他の車両から見れば十分以上の脅威です。
- 2) 通過チェックCでは、早めに歩道へ入ることが良さそうです。橋の歩道を自転車で進む利用も見られ、交差点直前での歩道進入は衝突の原因になるかと思えます。
- 3) 夜中から明け方にかけてJR身延線沿いを進むときは、動物に注意してください。通過時には鹿を数頭見掛けています(JR身延線は鹿との衝突が非常に多いです)。

- 4) 逆回り468.9km地点の交差点は、キューシートの注意書きのとおり、橋の架替え工事のため迂回路を進みます。通過時、交通量は少なく問題はないように見えたが、不安があれば、交差点手前で歩道へ入るなど、安全に渡ってください。
- 5) 旧冷川峠は、東海バスの営業ルートです。一部のカーブは幅員も狭く、バスが対向車線に乗り出して曲がらざるを得ません。対向車線にバスが見えたらカーブ手前で停車できるよう速度を調整ください。また日中は十分に明るい峠道でしたが、対向車への気付きのため前照灯は点灯するよう心懸けてください。
- 6) JR平塚駅周辺にはパーキングメーターが設置されています。通過時はほぼすべてのメーターに自動車が停まっており、当日も利用者は多いと思います。ドアの開閉は勿論、駅前とあって歩行者も多いため、飛び出しなどにも注意ください。

以上